

7

大津ヴェルツブルク奏楽会（歌唱）

日独抒情詩の解説と演奏を行う

奉納／水無瀬神宮 演奏会／ピアザ淡海滋賀県立県民交流センター・大津市伝統芸能会館。大津市教育委員会より「おおつ学認定講座」に認定される。

代表 金子 瑞穂

大阪天満宮献詠短歌大賞・住吉大社献詠大賞・隠岐後鳥羽院神社和歌入賞・元大阪音楽大学講師。主著「桜譜」文芸社刊（2021年）。作詞作曲作品「神戸からの風」「ののさまの子守歌」他

百人一首の関蝉丸様和歌を日独両語で朗詠致します。



8

孔明祈水山保存会（郷土芸能・大津祭囃子）

孔明祈水山（中堀町所有） 囃子方 創建は1694年（元禄7年）

曳山の名は、蜀の軍師である諸葛孔明が魏の曹操と戦った際、流れる水を見て敵の大群を押し流す大水を祈ったところ、洪水が起こり魏の大軍は流され勝利したという故事に由来します。当山の囃子方は保育園児から社会人まで総勢20名程で活動しており、中堀町出身以外のメンバーも多くいます。囃子は鉦(かね)、太鼓、笛で構成され、宵宮や本祭の午後からは大太鼓も使用しさらに迫力が増します。大津は琵琶湖に沿った平坦な道と山に向かう坂道があるため、曳山巡行中は平坦な道ではゆったりとした曲、坂道では曳き手を鼓舞するテンポの速い曲というように曲目を変えています。



9

ちんどん屋こうあん一座（ポップス）

滋賀県内を中心に活躍中の「こうあん一座」。かねや太鼓に拍子木など、にぎやかな囃子（はやし）に乗って、きばつな白塗りの化粧に奇妙な衣装の一座が練り歩き、踊り出す。とたんに陽気で活気に満ちた場面が出現し、周りの人たちの耳目を引きよせ、心を弾ませる。

